

研究指導の概要

■ 応用理工学学位プログラム 物性・分子工学サブプログラム

【課程：博士前期課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
1 年 次	春	A	○新入生オリエンテーション ○指導教員・副指導教員の決定 ○授業科目の受講（研究のための基礎科目の履修）
		B	・数理物質科学コロキウム ・研究倫理
		C	○各特別研究ⅠA・B（通年） 指導教員の指導によって、学位論文のテーマの設定と実施に必要な基礎的知識の取得方法とその内容について学ぶ。大学院セミナー及び研究室セミナー等に参加して、他の学生や教員の研究計画の立て方、研究内容、結果の評価方法、発表の仕方を学び、質疑応答に参加して理解を深める。
	秋	A	○授業科目の受講（基礎専門科目、専門科目の履修）
		B	○「教員と学生の懇談会」に参加し、研究の進め方などの参考にする。 ○指導方法 物質、材料からデバイス、計測技術に至る多様な工学的分野において、十分な理学的基礎力を備え、各分野の物質工学における専門分野についての深い知識を有するように指導を行う。
		C	修士研究中間報告書の提出
2 年 次	春	A	○各特別研究ⅡA・B（通年） 指導教員の指導によって、学位論文のテーマの実施と完了に必要な先端的な知識を取得し、その内容について更に深く学ぶ。大学院セミナー及び研究室セミナー等に参加して、他の学生や教員の研究計画の立て方、研究内容、結果の評価方法、発表の仕方を更に深く学び、質疑応答に参加して理解を更に深める。学位論文の執筆を行い、完成させる。
		B	○授業科目の受講（基礎専門科目、専門科目の履修）
		C	○「教員と学生の懇談会」に参加し、今後の研究生生活などの参考にする。 ○指導方法
	秋	A	修士論文執筆に関わる指導を行う。そして、多様な現実の問題にしなやかに対応できる、オリジナルの技術を作り上げ、後進を育成できる工学的応用力、適用力を有し、各分野の高度な研究能力を持って社会に貢献できる高度専門職業人となるように指導を行う。
		B	
		C	修士論文の提出・発表会により、博士前期課程修了者の決定